

は決して容易なことではなからうが、それにも係はらず、少しく勢力を得れば、かく一方から他方を侵略したことは、有名なる蒙古の成吉思汗以前にも既に屢々繰り返されて居る、たゞ支那の記録が斯る事まで委しく記して居ないだけのことである、思ふにかゝることは突厥や回鶻以前にもまた屢々演ぜられたことで、これからやがて東洋人種の西方移動といふ重要な事件を惹起したのであらうが支那の記録では勿論かゝることを明らかに知ることが出来ない、此等のことは直接支那とは関係のないことであるから、縦令態々傳を立てゝ居るにしても書き洩らしたに不思議はないとしても、直接關係の存すること、縦令ば或る國の來貢したといふやうな出來事でも、書き記して無いのがあり、また書いてあつてもその年次を誤つたり、事實を間違へて居るのも少くない、かゝることは別に支那の記録に限つた譯ではなく、何處の國でもその歴史を編纂するに當つては有り勝のことで決して不思議ではない。しかも往々此等の記事を楯にして縦令ば何年には某國入貢の記事が無いから、その年には此の國との交渉は無かつたものであるといふ様に考へる人の少くないのは、此等の記事を過重視するものであつて、決して公平な觀方とは云はれない、書き示されてある事件については相當考察を加へた上で、正確な史實として扱ひ得るが、書き示されて居ないといふことは、決してその事件の絶對的に存在しなかつたことを示すものではない、従つて此の書き洩らされた中の重要な點を補つて行くことが、即ち研究の一目的でなければならぬ。

斯る次第であるから東洋史學の研究上支那の記録に見えて居る東洋諸國の記載は、極めて重要ではあるが、然もまた不完全至極なもので、只だ暗黒を照らす電光に外ならぬ、支那の記録が既に此の如くであるから、まして波斯、亞刺比亞、その他の諸國の記録に載せられて居ることは尙更零碎なものであつて、到底此等によつて多くのこ